

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

令和7年3月31日

計画の名称	4 誰もが安全・安心に通行できるみちづくり (防安)							重点配分対象の該当				
計画の期間	令和7年度 ~ 令和11年度 (5年間)			交付対象	北九州市							
計画の目標	歩行者が安全で安心できる歩行空間の確保や危険な交差点等の道路交通の安全性向上を図るため、歩道設置や交差点改良等の交通安全対策、道路施設の維持修繕等を推進し、誰もが安全・安心に通行できる道路交通環境の整備を行う。											
計画の成果目標 (定量的指標)	北九州市内の道路交通における死傷事故率を令和6年度比で1割削減することを目指す。											
定量的指標の定義及び算定式	$\text{死傷事故率} = \frac{\text{年間事故死傷件数}}{\text{自動車走行台キロ}} \text{ (件/億台キロ)}$								備考			
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (R7d当初)	中間目標値 (R9d末)	最終目標値 (R11d末)						備考			
	0% 削減	5% 削減	10% 削減									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	9,321百万円	A	9,321百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業														全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)								
											R7	R8	R9	R10	R11				
A-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	交安	(国) 199号ほか	交差点改良	北九州市	■	■	■	■	■	22	—		
A-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	交安	(一) 下洞津戸畑線	交差点改良	北九州市	■					49	—		
A-3	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(1) 曾根下曾根1号線	交差点改良	北九州市	■	■	■			159	—		
A-4	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	交安	(国) 道路照明施設LED化	道路照明施設LED化	北九州市	■	■	■	■	■	109	—		
A-5	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	交安	(県) 道路照明施設LED化	道路照明施設LED化	北九州市	■	■	■	■	■	337	—		
A-6	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(市) 道路照明施設LED化	道路照明施設LED化	北九州市	■	■	■	■	■	561	—		
A-7	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	交安	(県) バリアフリー化	歩道整備	北九州市	■	■	■	■	■	671	—		
A-8	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(市) バリアフリー化	歩道整備	北九州市	■	■	■	■	■	105	—		
A-9	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	交安	(国) 路面標示等	路面標示等	北九州市	■	■	■	■	■	13	策定済		
A-10	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	交安	(県) 路面標示等	路面標示等	北九州市	■	■	■	■	■	99	策定済		
A-11	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(市) 路面標示等	路面標示等	北九州市	■	■	■	■	■	75	策定済		
A-12	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画調査	道路照明施設総点検	市内全域の道路照明施設の総点検	北九州市	■	■	■	■	■	105	—		
A-13	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国) 道路照明施設補修	市内全域の道路照明施設補修	北九州市	■	■	■	■	■	212	—		
A-14	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(県) 道路照明施設補修	市内全域の道路照明施設補修	北九州市	■	■	■	■	■	125	—		
A-15	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(市) 道路照明施設補修	市内全域の道路照明施設補修	北九州市	■	■	■	■	■	704	—		
A-16	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国) 舗装修繕	舗装修繕	北九州市	■	■	■	■	■	800	—		
A-17	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(県) 舗装修繕	舗装修繕	北九州市	■	■	■	■	■	400	—		
A-18	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(市) 舗装修繕	舗装修繕	北九州市	■	■	■	■	■	700	—		
A-19	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国) 防災対策 (法面対策)	法面对策	北九州市	■	■	■	■	■	750	—		
A-20	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	修繕	(県) 防災対策 (法面対策)	法面对策	北九州市	■	■	■	■	■	300	—		
A-21	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	修繕	(市) 防災対策 (法面对策)	法面对策	北九州市	■	■	■	■	■	1,750	—		
A-22	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	修繕	(国) トンネル非常用設備更新	トンネル非常用設備更新	北九州市	■	■	■	■	■	500	—		
A-23	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	修繕	自転車駐車場修繕	市内全域の自転車駐車場修繕	北九州市	■	■	■	■	■	190	策定済		
A-24	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	修繕	道路情報表示設備修繕	市内全域の道路情報表示設備修繕	北九州市	■	■	■	■	■	105	—		
A-25	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画調査	路面性状調査	市内全域の路面性状調査	北九州市	■	■	■	■	■	200	策定済		
A-26	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画調査	道路構造物点検	市内全域の道路構造物点検	北九州市	■	■	■	■	■	125	—		
A-27	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画調査	アンダーパス構造物点検	市内全域のアンダーパス構造物点検	北九州市	■	■	■	■	■	50	—		
A-28	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画調査	道路案内標識点検	市内全域の道路案内標識点検	北九州市	■	■	■	■	■	105	—		
											合計					9,321			

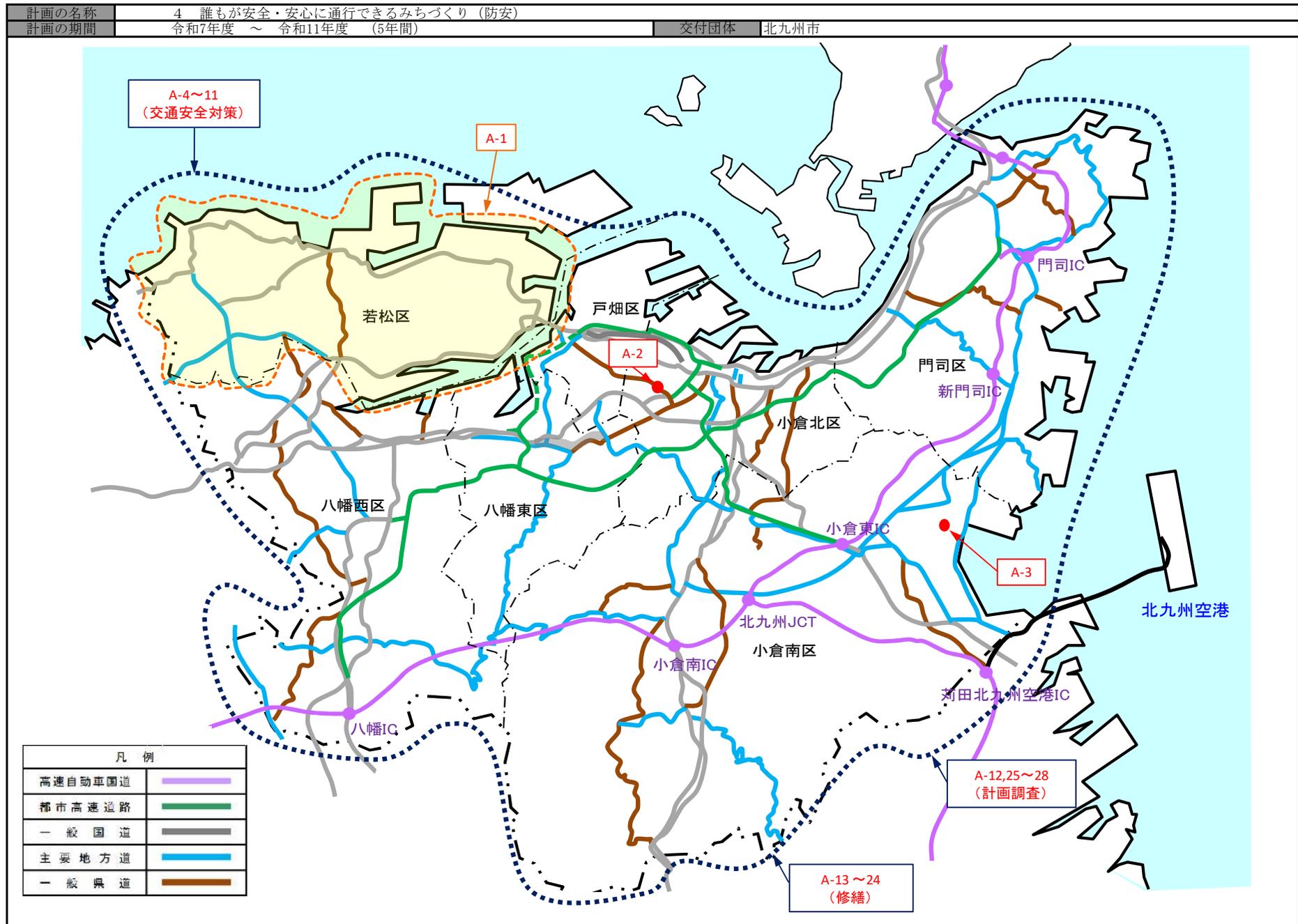
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者			要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R7	R8	R9	R10	R11				
											合計					0			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省路 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											R7	R8	R9	R10	R11				
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省路 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											R7	R8	R9	R10	R11				
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R7	R8	R9	R10	R11
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計 画 の 名 称 : 4 誰もが安全・安心に通行できるみちづくり(防安)

都道府県・市町村名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
2) 定量的指標の明瞭性	○
3) 目標と事業内容の整合性	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
2) 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○